

自治連 わさう

創刊号

平成19年10月1日



平成19年度和光市自治会連合会総会風景

広報発刊に当たって

和光市長

野木 実

「自治連の広報紙」の発刊、心からお喜び申し上げます。

自治会連合会の皆様におかれましては、発足当時より市政発展のためにご尽力をいただき、市内の自治会の加入促進活動やクリーン・オブ・和光をはじめとした地域活動、さらには会員同士の親睦を深め、コミュニティ意識の活性化を目指した活動を行い、また防犯・防災に関する地域の連帯感や組織化の向上に努め、住みよいまちづくりに多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。

私は、常々、市政の主役は市民であると考えております。これからの市政は、行政からの一方通行ではなく、市民の皆様に参加していただいて、一緒にまちづくりを進めていかなければならないと思っています。

その一つとして、「自治連の広報紙」が、地域住民にさまざまな情報を発信し、さらには情報を共有することで地域力が高まり、まちづくりの原動力になると確信しております。

この「自治連の広報紙」が会員各位をはじめ、広く市民の皆様にあ読されることを祈念し、発刊に当たってのごあいさつといたします。

和光市自治会連合会

会長 浪間 貞

和光市自治会連合会の広報紙発刊に当たり、ひとことごあいさつ申し上げます。自治会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃は自治会連合会に対し、力強いご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

今、連合会として、「住みよいまちづくり」「安心安全のまちづくり」を目標に活動を進めているところでございます。この広報紙を介して各自治会の活動状況、情報交換、又連合会の活動等をお知らせし、なお一層の充実した活動を行うために広報紙を活用していただけたら幸と思います。

今、市の「第三次和光市総合振興計画」及び「和光市行政改革」プランの中で、市民と行政の協働を推進することを定めており、「和光市協働指針」の素案が審議されております。「住みよいまちづくり」「安心安全なまちづくり」の実現に向けて、行政と連合会は一体となり努力する所存でございます。

最後に発刊に当たり、ご協力頂いた方々に心からお礼申し上げ、皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

地域とふれあうまちづくり

自治会連合会は、市内98の自治会が集まり組織されている団体であり、総世帯数34,182世帯で、組織としては、和光市内でも大変大きな団体であります。そして、公的団体として行政をはじめ各種機関や団体と一体となって、地域の諸問題や事業に取り組み、地域の皆さんと一緒に住みよい地域づくり、更には、住みよいまちづくりを目指して活動に取り組んでおります。

自治会連合会のこれまでの主な活動は、クリーンオブ和光「ゴミゼロ運動」、自主防災組織による防災訓練、地域防犯対策の推進等、地域に密着した事業に積極的に取り組むとともに、市や教育委員会主催の「市民まつり」、「市民体育祭」をはじめ各種団体の事業、イベントにも積極的に参加、協力しております。

これからは、地方の時代にふさわしい「市民参加・協働」の行政が進められます。地域のみなさんの声を行政へつなげるパイプ役として大変大きな役割がありますので、自治会活動を更に活性化するとともに、その推進役(リーダー)としての連合会を充実し、市民の皆さんの期待に応えられるよう頑張っております。

安全・安心のまちづくり

防災、防犯体制の充実

環境にやさしいまちづくり

ゴミゼロ運動、自然環境意識の啓発

行政との協働

行政のパートナーとしての責任ある役割に努める

市行政委員の推薦、市内各種事業、大会等への参加、協力

和光市自治会連合会地区別表

新倉北地区

越太清水月北北西松泉山日柿ブルーミング二向和上新若三新大東
平住見光台漆原彦の出の三光之倉葉栄漆
住宅住ヶヶ台向台会郷三葉会会会生一
戸宅丘会坂台会木阿小嶋石福本伊吉小宮金浅加保今石川
柴宇野原山城上清水横大熊高野本多市中山阿部小嶋田石川福西本伊葛網小西宮金子浅加保今石川
吉野秀宗朝二廣雄雄壽志郎太郎義弘勇純子直樹正弘昭司介雄誠明祐太郎一雄博収彰奈子
越太清水月北北西松泉山日柿ブルーミング二向和上新若三新大東
平住見光台漆原彦の出の三光之倉葉栄漆
住宅住ヶヶ台向台会郷三葉会会会生一
戸宅丘会坂台会木阿小嶋石福本伊葛網小西宮金子浅加保今石川
柴宇野原山城上清水横大熊高野本多市中山阿部小嶋田石川福西本伊葛網小西宮金子浅加保今石川
吉野秀宗朝二廣雄雄壽志郎太郎義弘勇純子直樹正弘昭司介雄誠明祐太郎一雄博収彰奈子

下新倉地区

協和会山田智好
さつき会間下玲子
青葉会鈴木明子
第一あけぼの会小宮山善信
親栄会南平久男
なでしこ会渡辺るみ子
コスモヒルズ井谷太
旭ヶ丘川島明
一新会田中一穂
吹上睦会鳥井靖雄
リラティブ和光村上亮介
大世会森元久晴
浅久保上町会飯田久夫
浅久保仲町会牧島徳久
浅久保こぶしの会花岡治彦
浅久保町会伊藤芳夫
西高島スカイハイツ小田妙子
クレール和光片山宗道
コスモステージ和光宮坂智一
西大和団地三上忠男
和光官舎区福島邦彦
七新鈴会清水務
友愛コーポ横田孝二
南上町会常松博
新倉第八本橋次郎
和光第八本橋良吾
和光宿舎A・B棟金井泉寿

新倉南地区

白子南地区

向山会浪間貞
白三泉会立澤光子
白三中会廣澤良彰
白一東会加山茂夫
白三緑ヶ丘小結雄幸
白三富士桜内藤敏之
白三西部加山幸子
白三八雲台成島寛
白子南越之上竹市力
越ヶ丘安住明也
グランヴィータ桐淵信男
白三西牛房原田政雄
桜自治会佐藤栄志
白三越後山中村幸夫
緑自治会林武雄
双葉会滝口陽子
二軒新田手銭隆
南大和団地高嶋泰一
アーベイン和光南大塩聖司
マイキャッスルⅡ石井いづみ
和光ガーデンフォート佐藤順子

白子北地区

諏訪原団地小山一晚
わだち会金子正義
諏訪原柴崎豊明
メゾン和光台矢内葉子
大和会川勝明治
清和会富澤孝智
和光パークファミリア渡辺倫太郎
四晴会柴崎紀弘
藤の木宮下岩雄
東輝渡部昭三
白子水門会尾和浩
ライオンズヒルズ和光石本芳信
国立埼玉病院宿舎自治会連会上牧勇
D I Kマンション和光西川政晴
ライオンズマンション和光第2区木村信夫
レクセルマンション成増第2区横山寛
サンヴェール和光グランドビル川曲幸生
桂ハイツ成増甲斐原広利
和光ピューステージ大橋隆宏
J-シティオメイツ和光金子聰
ヴィスタヒル永田義人



地区懇談会での意見・要望に対する Q&A

8月に維持管理を含め地元自治会と協定を締結し現在に至っております。

ゴミ問題について

Q ゴミ停の設置について(面積条件はあると思うが、特に小規模の戸建ての場合)徹底指導を。

A 小世帯のごみ集積所の設置につきましては、ごみを効率的に収集するためにお断りしているのが実態であり、管理につきましても、気持ち良く利用できるよう利用者で話し合い、それぞれの地域の実情にあった管理をお願いしています。

ごみの分別排出は、市民一人ひとりが分別排出ルールを守っていただくことが必要ですが、一部のごみ集積所では、分別排出ルールが守られていないごみが見受けられます。このような問題のある集積所に対しては、市は利用者の方々とは協力して、分別排出ルールを守ってもらうよう働きかけるなど問題解決を図っております。

防災について

Q 防災訓練(公園を利用して)の実施に当たり、市に依頼したところ適切な処理が取られていない状況であることの見解があった。

A 防災に関する啓発や訓練への立会いについては、くらし安全課で担当している他生涯学習課において、「おとどけ講座」の中にもありますので、全庁的に連携して実施いたします。

Q 電柱に避難場所の表示を。

A 市民の方が避難場所を常日頃から意識し、災害に備えることは、誠に大切なことであると考えますので、現在、避難表示看板が避難通路上に設置されておりますが、今後も電柱などの利用も含め研究してまいりたいと思います。

Q 安全・安心なまちづくり(今回の地震で)。防災名簿の作成について。

A 和光市防災計画に基づき、災害時の各種マニュアルの作成を進めております。その中で、災害時要援護者対策についても検討されてますが、個人情報保護法による問題や配布範囲などの協議に時間がかかるものと考えておりますことから、名簿の作成については、慎重な検討が必要であると考えます。

Q 防災無線(地下鉄の車庫)の設置について。

A 防災行政無線における音達調査が終了し、防災行政無線の新設工事及び音達範囲の調整を図っております。

Q 防災倉庫(白子3丁目)の管理について。(現在2階の事務室を藤の木自治会が管理しながら利用している

ところですが、清掃、備品等の充実を検討していただきたい。)

A 白子3丁目防災倉庫災害対策室の使用については、平成13年

道路行政について

Q 西大和団地内の違法駐車取締りについて。

A 団地内道路は和光市道ではありませんので、独立行政法人都市再生機構(〒231-8315神奈川県横浜市中区本町6-50-1 TEL045-650-0111)にご相談ください。

Q 市道104号線道路改良整備について。

A 城山歩道橋の撤去に伴い、県道練馬川口線の周辺整備を埼玉県が計画していますので、それと併せて調整します。

Q 白子3丁目地区土地区画整理による地域まちづくり推進への助成支援について。

A この地区は、昭和59年12月に、市街化区域内に多くの農地が存在している区域の無秩序な市街地の拡大による生活環境悪化の防止や計画的な公共施設の整備による良好な市街地の形成などを目的とした暫定線引き制度(用途地域を残したまま当分の間、市街化調整区域に編入する制度)により市街化調整区域となっております。当時、この白子3丁目地区(7.3ha)と南1丁目の越後山地区(14.7ha)の2地区が和光市では制定されました。市は、当白子3丁目地区について平成2年に土地区画整理事業計画案を作成し、準備委員会が設立、仮同意書の集約、市への技術援助申請も提出され、土地区画整理事業を進める方向でしたが、当時の社会状況や住民の整備意識の盛り上がりがなかったことにより計画が、棚上げとなっております。

平成12年に、都市計画法が改正され、区域区分の有無を国が一律に指定するのではなく、県による判断することが可能となり「環境優先・生活重視」の基本理念とし、地域の実情に応じた多様な都市づくりができるようになっております。このような状況の中、埼玉県では暫定線引き制度について見直しを行っており、平成20年度中に土地利用計画がないものについては、暫定措置を解除する方向で検討を行っております。

現在、この状況を勘案した上で、再度、土地区画整理及び地区計画の手法により市街化編入するべく、平成18年11月に地域での説明会を行い、その後、「まちづくり委員会」を発足し、事業の推進方針を検討している状況です。平成19年8月10日現在での状況は、市により基本構想及び測量業務の発注を行っております。また、「まちづくり委員会」は平成19年3月に勉強会を行い、また、8月に第1回委員会を開催しております。なお、委員数が現在6名なので、2から3名程度の委員追加募集を行っているところであります。今後は、(平成21年3月までの)区画整理の事業認可を目指し、関係機関と調整を行っていきと考えております。なお、市の助成支援につきましては、谷中地区、越後山地区と同様に、技術援助、市助成金、国などへの補助申請(まちづくり交付金)等を行う予定であります。



集 集会施設について

Q 集会所の検討について。(漆台向坂付近)

A 自治会が設置する集会所については、「和光市ふれあい施設整備補助金制度」に対象事業として「集会所整備」があり、事業に要する経費の10分の6(限度額750万円)が補助金として交付されます。また、地域センター建設に向けては、建設された地域センターを継続的に管理協力する意志を持つ自治会の連名による要望書を提出してください。「和光市コミュニティ施設設置方針」に基づき、地域センターの建設を検討します。

Q 白子3丁目地区地域センターの早期設置について。

A 要望に沿って、誘致を確保し検討してまいります。

そ の他

Q 街路灯の管理について。(私道であるが、管理、修理費等の負担について)

A 防犯対策とともに私道の通行の安全を確保するため、市内の住民で構成されている自治会等の団体が行う防犯灯の設置及び修繕に対し、補助制度がございます。

Q 新倉駐在所の跡地について。(その後の利用について)

A 跡地については、駐在所設置に協力していただいた地元の意見を踏まえ、跡地利用に対応します。

Q 郵便局付近(すずもり公園)の公園の管理について。(事故対策等について)

A この公園は、昭和30年代から地元自治会の要請と、土地所有者のご理解のもと、和光市社会福祉協議会が遊具を設置し、新鈴会児童遊園地として利用していただいております。管理については、草むしり、ゴミの收拾等、日常の管理については地元自治会が行うことになっております。遊具の点検(毎月1~2回)及び修繕等については、同協議会で行っております。

Q 八雲台公園の管理について。(間伐・防犯等)

A 牛房八雲台憩いの森の管理は公園維持管理としまして週2回の清掃、年10回の除草を行っております。高木につきましては、民地の影響を考慮した剪定等を行い、道路は通行に支障の無いよう除草を行っております。また、不審者等に対しまして草木の陰に隠れたりすることが出来ないような整備を行っております。

Q 市からの各自治会への各種委員の推薦依頼、人選に関わる依頼文書等について。(2か月前に話しができるように、また、必ず返信用封筒を入れること。)

A 各関係課と連携を図りながら、周知してまいります。

編集後記

「自治連の広報紙」が皆様のご協力を得て、第1号の発刊にこぎつけることとなりました。皆様や所属される各自治会と連合会のコミュニケーションを強めるパイプ役となればと小所帯の編集委員一同、微力ながら全力を尽くして行きたいと思っております。まだヨチヨチ歩きですが、親しみやすい紙面作りを目指し、皆様の所属される自治会の各種活動を積極的に取材に歩きますので、その時はよろしくご協力願います。また、皆様からのこれはと思う地域活動情報の投稿も大歓迎です。 桐淵 記

美しいまちづくり

クーリングオフ和光(ゴミゼロ運動)の実績

平成19年6月17日(日)実施 79自治会

可燃ごみ 8,220kg 不燃ごみ 5,700kg 計 13,920kg

七区自治会で 防災訓練を実施

1日「防災の日」で始まった9月、七区自治会では2日「七区防災訓練」を実施した。毎年「防災の日」にあわせて行われている「七区防災訓練」は、一時避難場所指定されているHONDA和光ビル敷地内の指定場所へ自治会の8支部内に集合した住民が避難した。

午前10時30分、避難場所に到着した各支部の避難状況が報告され、(避難住民の確認で)訓練が開始された。リヤカーによる高齢者、病人の避難も報告され、151人が参加した。

和光市消防団第4分団の協力で、水消火器、可搬ポンプの防水、消火操作を体験した。また、和光消防署の協力で、今回初めて煙体験施設を設置し、火災の時、どう煙に対処したらいいのか(さまざまな)アドバイスを受けることができ、防火意識を高め命と暮らしを守る大切さを痛感した。また、和光市女性防災クラブが、消防法及び朝霞地区一部事務組合火災予防条例により設置が義務づけられた「住宅用火災警報機」設置推進のチラシ配布を行い、各家庭から命と暮らしを守る大切さを訴えた。防災訓練の締めくくりは、自治会役員による炊き出し訓練で、おにぎりや焼きそばなどが用意され、親睦を深めながら、訓練の感想などが話し合われた。

和光市くらし安全課から、災害時に、水でも調理できるアルファ米の提供もあり、家庭での災害に対する備えの大切さも話し合われていた。

無事故で修了し、大成功の防災訓練でした。

今後の事業計画

- ▼10月29日(月)・30日(火) 県外視察研修会(長野県佐久市)
- ▼11月 クーリングオフ和光(ゴミゼロ運動)
- ▼2月 新年顔合わせ会
後期地区懇談会
- ▼3月 クーリングオフ和光(ゴミゼロ運動)

タイトルとデザイン募集

和光市自治会連合会では、平成19年10月から年2回「自治連の広報紙」を発行します。みんなで作る広報としてタイトルとデザインを募集いたします。

採用作品には粗品を進呈いたします。

サイズ タテ7cm×ヨコ21cm

例



締切り 平成19年12月末日
提出 自治会連合会事務局(和光市総合福祉会館内)
和光市南1-23-1 郵送可